

## 令和3年第4回豊後高田市議会定例会会議録（第1号）

### ○議事日程〔第1号〕

令和3年11月30日（火曜日）午前10時0分 開会

※開会宣告

※開議宣告

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 会期の決定
- 日程第3 閉会中の委員会付託事件〔第52号議案から第54号議案まで〕  
（委員長報告・委員長報告に対する質疑・討論・表決）
- 日程第4 第57号議案から第65号議案まで及び第5号報告  
提案理由説明

### ○本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

### ○出席議員（16名）

- |      |         |
|------|---------|
| 1 番  | 於 久 弘 治 |
| 2 番  | 毛 利 洋 子 |
| 3 番  | 中 尾 勉   |
| 4 番  | 黒 田 健 一 |
| 5 番  | 井ノ口 憲 治 |
| 6 番  | 阿 部 輝 之 |
| 7 番  | 土 谷 信 也 |
| 8 番  | 成 重 博 文 |
| 9 番  | 中山田 健 晴 |
| 10 番 | 松 本 博 彰 |
| 11 番 | 河 野 徳 久 |
| 12 番 | 安 東 正 洋 |
| 13 番 | 北 崎 安 行 |
| 14 番 | 河 野 正 春 |
| 15 番 | 菅 健 雄   |
| 16 番 | 大 石 忠 昭 |

### ○欠席議員（0名）

### ○職務のため議場に出席した事務局職員の職氏名

事 務 局 長	安 田 祐 一
次長兼議事係長	大 塚 栄 彦
総括主幹兼庶務係長	黒 田 祐 子
主 事	今 村 堇 花

### ○説明のため議場に出席した者の職氏名

市 長	佐々木 敏 夫
副 市 長	堤 隆
市参事兼総務課長	佐 藤 之 則
市参事兼財政課長	飯 沼 憲 一
企 画 情 報 課 長	丸山野 幸 政
地 域 活 力 創 造 課 長	小 野 政 文
税 務 課 長	田 中 良 久
市 民 課 長	黒 田 敏 信
保 険 年 金 課 長	大久保 正 人
社 会 福 祉 課 長	田 染 定 利
子 育 て 支 援 課 長	水 江 和 徳
健 康 推 進 課 長	清 水 栄 二
人権啓発・部落差別解消推進課長	
	後 藤 史 明
環 境 課 長	尾 形 稔
商 工 観 光 課 長	河 野 真 一
農 業 振 興 課 長	川 口 達 也
耕 地 林 業 課 長	早 田 博 昭
建 設 課 長	永 松 史 年
都 市 建 築 課 長	清 水 英 文
上 下 水 道 課 長	本 田 督 二
地 域 総 務 二 課 長 兼 水 産 ・ 地 域 産 業 課 長	
	阿 部 幸 喜
会 計 管 理 者 兼 会 計 課 長	佐々木 真 治
選 挙 管 理 委 員 会 ・ 監 査 委 員 事 務 局 長	
	藤 重 深 雪
農 業 委 員 会 事 務 局 長	塩 崎 康 弘
消 防 本 部 消 防 長	榎 本 賢 二
教 育 委 員 会	
教 育 長	河 野 潔
教 育 総 務 課 長 兼 地 域 総 務 一 課 長	
	植 田 克 己
学 校 教 育 課 長	衛 藤 恭 子
文 化 財 室 長	板 井 浩
総 務 課 参 事 兼 総 務 法 規 係 長	近 藤 直 樹
主 幹 兼 秘 書 係 長	江 畠 信 之

### ○議長（北崎安行君） おはようございます。

ただいまの出席議員は16名で、議員全員の出席であります。よって、令和3年第4回豊後高田市議会定例会は成立いたしましたので、開会いたします。

この際、諸般の報告をいたします。

11月30日

お手元に配付いたしました事務報告書のとおりでありますので、ご了承願います。

これより本日の会議を開きます。

市長ほか関係者の出席を求めましたので、ご了承願います。

○議長（北崎安行君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員に、2番、毛利洋子君及び4番、黒田健一君を指名いたします。

○議長（北崎安行君） 日程第2、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

今期定例会の会期は、本日から12月15日までの16日間といたしたいと思えます。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（北崎安行君） ご異議なしと認めます。よって、今期定例会の会期は、本日から12月15日までの16日間と決定いたしました。

なお、会期中の会議予定は、お手元に配付しております会議予定表のとおりであります。

○議長（北崎安行君） 日程第3、閉会中の継続審査となっております、お手元に配付しております閉会中の継続審査結果表の第52号議案から第54号議案までを一括議題といたします。

これより委員長の報告を求めます。

決算審査特別委員長、中尾 勉君。

○決算審査特別委員長（中尾 勉君） 皆さん、おはようございます。

決算特別委員長の報告をいたします。

去る10月15日、決算審査特別委員会を開会し、継続審査となっております決算議案3件の審査を終了いたしましたので、その結果を報告いたします。

第52号議案、令和2年度豊後高田市歳入歳出決算の認定について、第53号議案、令和2年度豊後高田市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について並びに第54号議案、令和2年度豊後高田市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定についてを一括議題とし、審査を行いました。

2名の委員から質疑が出され、その主な質疑の内容につきましては、地域おこし協力隊活動マネジメント委託料について、長崎鼻パーフェクトビーチ事業費補助金について、高齢者・子育て世帯リフォーム支援事業費補助金について、移住・定住対策事業について、車両移送型障がい者移動支援事業につい

て、部落差別解消推進活動費補助金についてなどです。

執行部から、各質疑に対し詳しく説明がありました。

審査の結果、第52号議案から第54号議案までについては、全員異議なく、認定すべきものと決しました。

以上で、決算特別委員会審査結果の報告を終わります。

○議長（北崎安行君） 以上で、委員長の報告を終わります。

これより、ただいまの委員長の報告に対する質疑に入ります。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（北崎安行君） 質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（北崎安行君） 討論なしと認め、討論を終結いたします。

第52号議案から第54号議案までを採決いたします。

お諮りいたします。

本案は、閉会中の継続審査結果表のとおり認定することに、ご異議ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（北崎安行君） ご異議なしと認めます。よって、第52号議案から第54号議案までについては、閉会中の継続審査結果表のとおり認定することに決しました。

○議長（北崎安行君） 日程第4、第57号議案から第65号議案まで及び第5号報告を一括議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

市長、佐々木敏夫君。

○市長（佐々木敏夫君） 本日ここに、第4回定例会を招集いたしましたところ、議員各位にはご出席をいただきまして誠にありがとうございます。

それでは、提案理由の説明に先立ち、市政に関する諸般の報告を申し上げます。

まず、長崎鼻の取組に関しまして、滞在型リゾートへの転換を進めてまいりました。そのことが、トリプル受賞につながりましたので、ご報告をさせていただきます。

まず初めに、1件目ですが、国土交通省主催の令

和3年度地域づくり表彰審査会特別賞の受賞でございます。

本市観光協会やNPO法人長崎鼻B・Kネットなど官民で構成するパーフェクトビーチ・里海ヘルスツーリズム推進協議会が受賞いたしました。

九州最大級の花公園、長崎鼻リゾートキャンプ場を核として、海、温泉、健康食など、本市の恵まれた地域資源を融合させ、通年型・滞在型の観光を実現させた点が高く評価されたものでございます。

2件目ですが、観光庁が後援するNPO法人地域活性化支援センター（恋人の聖地観光協会）主催の第2回恋人の聖地地域活性化大賞における観光庁長官賞の受賞でございます。

長崎鼻リゾートキャンプ場を舞台として、各種施設整備による海辺の魅力向上やひまわりオイルなど、地域資源を活用したヘルスツーリズムの取組が地域活性化に大きく寄与したとして、高く評価されたものでございます。

3件目ですが、公益財団法人日本デザイン振興会主催の2021年度グッドデザイン賞の受賞でございます。

パーフェクトビーチ・里海ヘルスツーリズム推進協議会が運営する長崎鼻ビーチリゾート内のバーベキューテラスが、若者への訴求力を備えたデザインクオリティに加え、地域の素晴らしい自然環境とともにある持続可能なライフスタイルの発信拠点として評価されたものでございます。

長崎鼻が、各方面から立て続けに高い評価をいただいたことは、本市固有の地域資源を最大限に生かし、他では体験することができない価値を創出できたことと、官民一体となった、おもてなしの取組が認められたものと思っております。

令和2年度はコロナ禍で厳しい中、過去最高の約11万人の入込客数を記録し、今年も好調な状況が続いております。

今後においても、地域の特徴を生かした観光資源を磨き上げ、一年中、皆様にお越しいただけるような観光地として取組を進めてまいります。

次に、10月以降、全国的に新型コロナウイルス感染症が落ち着きをみせる中、本市におきましても徐々に復興に向けた取組が始まりました。

10月30日開催の昭和の町の夜台市は、ハロウィンの仮装した子ども連れの親子などで大変な賑わいを見せ、11月27日の開催でも盛況な状況でございました。

11月3日には、昭和の町誕生20周年記念式典を開催し、10年以上続けている昭和の店32店舗のほか、昭和の町の振興に寄与した個人10人と2団体の功労者の皆さまを表彰させていただきました。

式典では、全国で活躍している日本総合研究所主席研究員の藻谷浩介氏による「昭和の町20周年～その先に～」と題して、特別講演を開催いたしました。

藻谷氏からは、昭和の町は世界に通じる懐かしさがあり、千年後の東大寺となりうるので、町並みを残してもらいたいとのご意見をいただきました。

また、豊後高田市は他市に比べて少子化が進行していない貴重な事例であるなど、お褒めの言葉をいただいたところでございます。

昭和の町では、誕生20周年を祝う記念イベントを開催しております。

12月11日、12日には、月光仮面を製作した宣弘社の80周年と昭和の町20周年のコラボ企画、あわせて100周年を開催し、昭和仮面と月光仮面が商店街に登場いたします。

昭和の町は観光振興の核としてだけでなく、本市の元気の源として、企業誘致や移住促進などにも大きく影響を与えております。

市民の郷土愛の醸成など地域振興に大きな役割を果たしており、これからも昭和の町が元気であり続けられるように努力してまいります。

続きまして、昨年、進出表明をいただいております東証1部上場の株式会社エイチワンが、この度、新工場が完成し11月24日に竣工式が行われました。12月から創業を開始する予定となっております。

本市では、このほかにも企業の設備投資が相次いでおり、コロナ禍で経済が低迷する中、地域経済の振興に大きく寄与していただいております。

次に、人口増施策の状況でございますが、本市が行う、高校生までの医療費無料化や市内保育園の保育料・幼稚園の授業料の無料化、保育園、幼稚園、小学校、中学校の給食費の無料化、子育て誕生祝い金の拡充など、全国トップレベルの子育て支援や移住・定住対策が着実に実を結んでおります。

これまでの取組により、転入者が転出者を上回る社会増は、大分県内でトップの7年連続を達成することが出来ました。

本年9月、日銀大分支店が公表した、大分県における人口移動の特徴を見ますと、本市は県外からの転入者が多く、かつ、女性の転入超過がプラスとなっていることが大きな特徴であります。

11月30日

今後においても、地域の活力は人であるとの信念のもと、子育て支援や移住・定住対策を充実させた人口増施策に努めてまいります。

次にスポーツの振興でございます。

11月5日に大分市で開催された第69回県中学校駅伝競争大会において、高田中学校男子陸上部が念願の初優勝を果たし、全国大会出場の快挙を成し遂げました。

コロナ禍で練習も制限される中、全6区間のうち、3区、4区、5区が区間賞で県内の強豪校を振り切り、見事、優勝いたしました。

12月4日に佐賀市で行われる九州中学校駅伝大会や12月18日に滋賀県で行われる全国中学校駅伝大会に大分県代表として出場いたします。

また、10月9日に大分市で行われた県中学校新人空手道大会の個人形で高田中学校2年の近藤寧音さんが優勝いたしました。個人組手では1年の河野叶多さんが3位となり、二人揃って来年3月27日から29日に京都市で行われる全国大会に出場いたします。

九州や全国大会での活躍を市民の皆さんとともに応援していきたいと思っております。

10月16、17日に大分市で開催された令和3年度大分県中学校新人柔道大会では、戴星学園柔道部女子が団体に初優勝するなど、素晴らしい成績を収めました。

さらに10月30日に大分市で行われた令和3年度大分県高等学校新人柔道大会において、高田高校柔道部男子が23年ぶり6回目の団体優勝を果たしております。

スポーツの活躍は市の元気の源であります。さらに高い目標をもって頑張っていただき、今後の活躍を期待しております。

去る11月3日に豊後高田ライオンズクラブより、結成60周年記念事業として、市内主要6か所の交差点と市内小中学校5校に11台の防犯カメラを寄贈いただき、除幕式が行われました。

日本一住みやすい町、行ってみたい町のためにも防犯カメラを役立てていただきたいとの趣旨であり、本市の進める安心して暮らせる環境づくりに大いに役立つもので、非常にありがたく思っております。

さて、新型コロナウイルス感染症の状況についてでございますが、第5波が落ち着きを見せ、全国的に感染者の減少がみられております。

本市におきましても、9月22日以降、感染者が確認されていない状況でございます。この場をお借り

しまして、市民の皆様の感染予防に対するご協力に感謝申し上げます。

現在、感染の流行は小康状態ではございますが、冬場の感染再拡大に備えて、大分県や関係機関との連携体制を充実させ、今後の対策に備えてまいります。

市民の皆様におかれましては、引き続き、三密の回避、不織布マスクの着用、手洗いなどの手指衛生、換気などの基本的な感染対策の徹底をお願いいたします。

また、ワクチン接種の状況でございますが、11月26日現在、2回目の接種を済ませた方は、対象者の86.1%となり、希望する方へのワクチン接種はおおむね完了している状況でございます。

なお、3回目の追加接種につきましては、11月12日に全額国費による接種関係予算の専決処分を行い、12月から医療従事者へ、来年2月頃から、2回目の接種終了後おおむね8か月を経過する方へと順次、進めていく予定でございます。

今後のポストコロナ対策につきましては、コロナ禍の影響により経済活動が大きな打撃を受けている現状を踏まえ、国や県の経済活性化対策を中心として、コロナ前の時点に1日でも早く立ち戻れるよう、観光振興施策を柱に、交流人口の拡大等を進めてまいります。

それでは、本定例会に提案いたしました議案等について、その大要をご説明申し上げます。

第57号議案の令和3年度一般会計補正予算（第6号）につきましては、3億3,549万5,000円の増額で、補正後の予算総額は、160億5,855万5,000円となります。

その主な内容につきましてご説明申し上げます。

まず、総務費では、令和2年度決算剰余金の基金法定積立や、過年度国県支出金精算償還金を計上しております。

民生費では、保育所の利用児童数が増加していることから、社会福祉法人が行う小規模保育施設の新設に対する助成経費や不足する保育所運営費の増額などを計上しております。

農林水産業費では、白ねぎの生産規模拡大に向けた支援経費や白ねぎ等の価格安定事業負担金などを計上しております。

商工費では、真玉海岸に新たな観光拠点施設を整備するための設計費、教育費では、県大会で優勝した高田中学校の駅伝などが全国・九州中学校体育大

会に出場するための補助経費を計上しております。

このほか、各費目に人事異動等に伴う人件費の補正を計上しております。

また、県内全域による消防通信指令業務共同運用に向け、おおい消防指令センターシステム整備業務委託料につきましては、債務負担行為予算を計上しております。

第58号議案の令和3年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）につきましては、令和2年度決算剰余金の基金法定積立や過年度分の保険給付費等交付金に係る精算償還金などを計上しており、3,945万5,000円の増額で、補正後の予算総額は、30億1,979万9,000円となります。

第59号議案の令和3年度介護保険特別会計補正予算（第1号）につきましては、令和2年度決算剰余金の基金法定積立や過年度国県支出金の精算償還金を計上しており、1,228万8,000円の増額で、補正後の予算総額は、28億3,986万3,000円となります。

第60号議案の令和3年度下水道事業会計補正予算（第1号）につきましては、人事異動等による人件費の補正を計上しております。

第5号報告の令和3年度一般会計補正予算（第5号）につきましては、地方自治法第179条第1項の規定に基づき、新型コロナウイルスワクチン3回目の追加接種に必要なコールセンター業務委託や接種業務委託について、予算の専決処分をしましたので、同条第3項の規定により報告し、承認を求めるものでございます。

次に、予算以外の議案についてでございます。各議案の末尾に提案理由を付しておりますので、主なものについてのみご説明申し上げます

第61号議案の豊後高田市と大分市との消防指令業務に関する事務の委託に関する規約につきましては、豊後高田市と大分市との間で消防指令業務に関する事務の管理及び執行の委託に関する規約を定めることについて、大分市と協議を行うものでございます。

第62号議案の公の施設の指定管理者の指定につきましては、長崎鼻リゾートキャンプ場の設置の目的を効果的に達成するため、当該公の施設の管理を行わせる指定管理者の指定について議決を求めるものでございます。

第65号議案の豊後高田市スパランド真玉条例の一部改正につきましては、スパランド真玉の利用者の利便性及び施設の稼働率の向上を図るため、所要の規定の整備を行うものでございます。

以上で、本定例会に提案いたしました議案等について説明を終わりますが、何とぞ慎重審議の上、ご協賛賜りますようお願い申し上げます。

○議長（北崎安行君） 以上で、本日の日程は全て終了いたしました。

明日から12月5日まで休会いたします。

次の本会議は、12月6日午前10時に再開し、議案質疑を行います。なお、議案質疑の通告は、明日正午までに提出願います。

本日は、これにて散会いたします。

午前10時30分 散会

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

豊後高田市議会議長 北崎安行

豊後高田市議会議員 毛利洋子

豊後高田市議会議員 黒田健一